

# いきいき通信

大船渡市男女共同参画情報紙

2009年3月

第22号



3月1日に開催された国際交流事業 Let's Have Fun 一緒に楽しもう vol 5 桜もちとうぐいすもち作りで交流しました。

## もくじ

### 特集 - 人生 - とともに楽しく生きる.....P2 ~ P3

おたがいの生き方や生きがいを認め合い、いきいきと暮らす、2組のご夫妻に聞きました  
野村節三さん・美保さんご夫妻(三陸町越喜来) 梶裕さん・久美子さんご夫妻(大船渡町)

男女共同参画サポーター養成講座 修了 ..... P 4

男の料理のすすめ ..... P 5

まちで見かけた参画コラム ..... P 5

ぽかぽか縁側日記 ..... P 6

### 男女共同参画社会とは・・・

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会です。

少子高齢化、国際化の進展など、社会経済情勢の急速な変化に対応し、調和のとれた活力のある地域社会を築いていくためには、男女共同参画社会を実現していくことが重要となっています。

編集・発行 / 岩手県大船渡市企画政策部男女共同参画室 / 〒022-8501 大船渡市盛町字宇津野沢15  
TEL 0192-27-3111 内線 216 FAX 0192-26-4477

# 特集

## 「人生」

### ともに楽しく生きる

おたがいの生き方や生きがいを認め合い、いきいきと暮らす、2組のご夫妻に聞きました。仕事の都合、家庭の都合、さまざまな事情で他県から大船渡市に移り住み、ご夫妻ともに、仕事、趣味、ボランティアなど、きらめきライフを送っています。



野村節三さん(75歳)  
美保さん(73歳)夫妻  
三陸町越喜来 在住

大船渡に住もうと思った  
きっかけは何ですか。

夫 昭和51年に、北里大  
学水産学部(現海洋生命科  
学部)へ赴任するため移住  
しました。三陸の雄大な自  
然の中に理想郷を見て、親

子4人、ここに居住するこ  
とに決めました。

ご出身はどちらですか。

妻 2人とも、兵庫県生  
まれで、職場も同じでした。  
東京の北里研究所で抗生物  
質の研究室にいたのです。  
その後、私は東京大学医科  
学研究所の免疫学研究室へ  
移り、技官として勤めまし  
たが、長男出産後に退職し、  
専業主婦になりました。夫  
は大学で、主に魚類病原菌  
の毒素の研究をして、平成  
11年に退職しました。

大船渡の良いところはど  
こですか。

夫 三陸町越喜来は、以  
前1年半過ごしたアメリカ  
のボストン近郊と、四季や  
風景が似ています。大自然

の山、川、海がすぐ手の届  
くところにあり、何より空  
気が澄んでいて、自然の産  
物が豊富なところです。

お2人の趣味は何ですか。

夫 鉱物のコレクション、  
海釣り、川釣り、カメラな  
どです。  
妻 絵を描くこと、詩吟、  
コーラスなどで、今年1月  
には、リアスホールで、第  
九交響曲を歌いました。

お2人の生きがいは何で  
すか。

妻 おたがいに、好きな  
ことをして楽しんでおりま  
す。それぞれの領域に踏み  
込まないことが暗黙のルー  
ルですね。三陸での暮らし  
が、楽しく、いきがいを感  
じます。地域の方々は、明

るくて優しい。また、絵を  
描くのに自然の題材が無限  
にあります。夫は、好きな  
釣りに出かけては、趣味と  
実益を兼ねてご満悦のよう  
です。さらに、鉱物のコレ  
クターとしては、気仙地方  
は宝庫のようです。



中学校での理科の出前講座 写真は東海新報社より提供

北里大学名誉教授で理  
学博士(専門は微生物生  
学)の野村節三さんは、「理  
科好きの子になって」と、理  
科の実験など、中学校での  
出前講座も行っています。  
また、昔語り文集「おおふ  
なと昔がたり」大船渡市老  
人クラブ連合会編集)の編  
集や、産金遺跡研究会に所  
属し探索しています。

### 「希望のライフコース実現が、少子化の抑制につながる!?!」

子育てで世代にとって、継続就業と再就職のいずれを選ぶにせよ、「自分の望むライフコースの実現が容易である」という安心感があれば、「子どもを持つ」という選択をしやすい。

男女双方とも「生活と仕事の適切な調和」が図られ、「子育ての負担感の軽減」や、「子育て負担の夫婦間の分担」が進むことで、少子化の流れを変えることが期待できる。

(平成18年版 国民生活白書 内閣府編集より)





梶 裕さん(54歳)  
久美子さん(51歳)夫妻  
大船渡町 在住

ご出身はどこですか。  
夫 山口県で生まれ、東京で育ちました。

大船渡に住んでみていかがですか。  
夫 山口県には、小野田セメント(現太平洋セメント)工場がありました。大船渡市に移住しても、同じ風景が目前にあり、懐かしく、違和感もなく、また、大好きな海がすぐ見えるところがあり、感激でした。

お仕事は何ですか。  
夫 私は、東京のアニ

メーション会社で、制作を担当していました。妻はアニメーターとして原画の仕事をしていまして、お互いに理解しています。

大船渡に住むきっかけは何か。  
妻 私は、大船渡生まれです。父が体調を崩し母と一緒に看病をするために、夫と相談し帰郷を決めました。私の仕事の原画という作業は地方でもできますが夫の仕事はプロデューサーという立場でしたので、東京の会社は退職。こちらですぐ就職でき、10年間会社勤めをしました。夫は、現在、好きな料理と音楽とともに、カフェを営んでいます。

お2人の生きがいは何ですか。  
夫 「この店はあなたのワンダーランドみたいなもの」と妻に言われます(笑)。私は、その店の中でのお客様との会話やふれあいを得られることが楽しく、妻は愛するアニメーションの仕事をして、お互いを尊重し

あい楽しく過ごしています。妻 描いたものが息を吹きこまれて画面になった時は、充実感を味わいます。集中して取り組む、こもりつぎりの仕事ですから、リフレッシュに読書をしたり、映画を観に行ったり、1月には第九交響曲の合唱にも参加しました。時間を見つけて、2人で旅行するのも楽しみます。



「おうちカフェ教室」では講師役も

梶 裕さんは、市民文化会館企画運営委員として、開館前のイベント開催、開館してからは、自主事業実行委員として、自主事業の開催など、ボランティア活動に熱心です。  
1月のリアスホール自主事業「おうちカフェ教室」では、企画、運営のほか、講師も務めました。



樋口紘さんによる講演

いわて女性のつどい開催  
2月2日、岩手県民会館で、いわて女性のつどいが開催され、岩手県立中央病院長などを歴任され、現在医療法人日新堂八角病院副理事長の樋口紘さんが、医師不足の岩手で地域医療をどう守っていくか 女性のちから」と題して、講演を行いました。

### うみねこの会 子育てフォーラム開催

昨年、12月13日、三陸公民館で、市内の男女共同参画団体「うみねこの会」主催による子育てフォーラムが開催され、共催の株モスがフードサービスの協力により、親子でのハンバーガー作りや、大船渡市出身で同社取締役専務執行役員最高執行責任者の田村茂さんが、親子に伝えたい「食」の大切さをテーマに、講演を行いました。



親子調理実習



田村茂さんによる講演

20年度

# 男女共同参画サポーター養成講座 修了

岩手県と岩手県男女共同参画センター主催による男女共同参画サポーター養成講座が開催され、大船渡市からは、森初子さん(大船渡町)と本多サト子さん(末崎町)が全7日間の講座を受講し、岩手県知事から「男女共同参画サポーター」として認定を受けました。2月に開催された市男女共同参画審議会では、学習の成果や今後の活動について、お2人から、次のような発表がありました。



森 初子さん(大船渡町)

男女共同参画とか、何も分からず受講したこの勉強会で、たくさんの方との出会いをいただき、たくさんこれまで知らなかったことを学びました。ドメスティック・バイオレンスは家庭内暴力をいいますが、身内の中でのことなので、誰も止める者はなく、加害者はどんどんその暴力をエスカレートさせます。被害者は我慢を続け、恐怖で心が支配されます。世間ではまだまだ、暴力を受ける側にも悪いところがあるんじゃないかと、少しぐらいいは我慢するべきだとか、家の中の恥をさらすの

かといった、間違った風潮があります。暴力は絶対悪で、人権侵害であり、犯罪です。物が豊かで恵まれた現代社会ですが、それが物欲に走りすぎて心が満たされていない、そういう方が多いのではないのでしょうか。私は、受講しながら、苦しみの中で、幸せを求める悲鳴が聞こえてくるような思いをたびたび感じました。講座を終えて、世の中で、人と人との関わりあいの中で、一番大切なことは、感謝の心ではないかと改めて思いました。感謝の気持ちがないから、不平不満ばかりが出る。格好をつけず、本音で相手の事を考えてあげることが大切だと思いました。

今後は、私なりに生かして、少しでも多くの人のために幸せづくりのサポートをしたい、と思いました。(一部略)



本多サト子さん(末崎町)

男女共同参画サポーター養成講座を受講する中で、「男は外で仕事、女は家」という固定観念を持っている人が、岩手県には半分いるということを知りました。私は、明治生まれの父と大正生まれの母、そして姉妹の中で育てられました。封建時代から続く家長制度の中で男尊女卑そのものを体感しながら、当たり前

に成長してきたように思いますが、例えば、女であるために生きたいように生きられなかった母達は、一人の人間としてどんなに辛いことだったことかと思えます。

大船渡市では、平成14年2月に県内初の男女共同参画推進条例を制定し、他市町村よりも取り組みは先行しているところですが、平成18年に実施した市民意識調査では、この条例を、まったく知らない方が、残念ながら、58%と高い結果でした。男女共同参画の必要性に気づいた私達サポーターが、微力ですが、少しずつ男女共同参画の意識の啓発、気運の醸成に努力していきたくと思っています。

これまで、地域活動を進める中で、人集めに常に苦労していたので、ひとの集まる講座のつくり方は、最も強く受講を希望しました。講師の牟田静香さん(NPO法人男女共同参画おたスタッフ)によると、人集めのポイントはただ2つ、一つ目はいろいろな人々が抱えている課題を分類してターゲットを徹底的に絞ること、二つ目は、そのターゲットの心に響くタイトルをつけること、です。私達サポーターは、今回学んだことを、地域の人達と一緒に、自分達ができることから実践して行きたいと思っています。(一部略)

## 平成20年度

### 男女共同参画サポーター養成講座日程等

- 第1回 【5/22】 男女共同参画概論 ほか
- 第2回 【6/13】 地域社会における男女共同参画ほか
- 第3回 【7/ 9】 仕事と生活の調和の実現を目指して / ワーク・ライフ・バランス シンポジウム ~様々な角度から見た働き方の改革~
- 第4回 【7/29】 女性への暴力...DV・セクハラ・性暴力 / 若者に広がる親密な関係に起こるデートDVの現状
- 第5回 【8/28】 国際協調と男女共同参画 ほか
- 第6回 【10/2】 地域に根ざした子育て支援 / 地域に根ざした介護支援 / ひとの集まる講座のつくり方
- 第7回 【11/5】 女性の政策決定過程への参画 ほか

講師は岩手県立大学教授、もりおか女性センター長、岩手労働局雇用機会均等室長、NPO法人代表ほか

県と男女共同参画センターでは平成21年度も同講座を実施予定、市では、5月頃受講生を募集します!

# 男の料理のすすめ

監町 上野 一 はじめ

大船渡市働く婦人の家主催の「男性のためのいきいきクッキング講座」開設の記事を見つけて応募したのが一昨年、77歳の時。5月から月1回、全7回を無欠席で修了した。

参加者は21人。多分私が最高齢だったと思う。それぞれに目的意識があったはず。私の場合、酒の肴を自分で作って楽しみたい」というもの。

10年ほど前、離れて暮らしている息子のところで、孫が5ヶ月の長期入院をすることになり、妻が手伝いに行った。私は一人暮らし。

二度目の勤めをしていたと



料理講座での上野さんと講座の成果品

きだが外食などせず、自分で料理をして食べた。そんなに苦労した記憶はない。

そんな訳で講座は楽しかったが、切迫感がないせいか、うちへ帰っても復習などせず、復習したのは「ビーフステーキ」だけだった。

とても記事のネタになるものがない。そこでこの際何か作ってみようと思い「酢豚」を選んでやった。NHKの「料理ビギナーズ」という番組を見、録画もしているので、「甘酢ソースで酢豚が簡単」に従ってやってみた。

3時頃の買い物から始めて出来上がったのが6時半頃。妻がコーチ役で心強い。期待以上の出来で大満足。「料理ビギナーズ」はDVD2枚に173項目が入っている。できそうな、やってみたいものがたくさんある。

身体を養い、心を満たし、脳の活性化に役立つ。こんな素晴らしい「料理」を、遅まきながら楽しんでいきたい。おまけに妻も喜んでくれる。

最後にこれまで家族のために料理を作り続けてくれた妻と、亡くなった母に感謝の念をささげたい。

## まちでみかけた 参画コラム

先日、市内の病院の待合室での女性たちの会話。

「最近よく、妊婦健診に、若いご夫婦が、2人揃って来ているわよね」

「そつね、ご主人がたまたま仕事が休みで来ているのかしら？それともわざわざ休みをとって、付き添って来るのかしらね」

「私たちの若い頃はそんなことはなかったわよねえ。出産・育児は女の仕事といわれていたからね」

「うちの息子夫婦に、昨年3人目の子どもが生まれたんだけど、3人も、息子が分婉に立ち会ったんだよ。家事も育児も分担しているよ」

「へええ。時代は変わったよねえ」



## 暴力防止の講演会を開催

1月10日、DV防止啓発の講演会が、民生児童委員、人権擁護委員、市民の方々約80人が参加して、開催されました。NPO法人レジリエンス代表の中島幸子さんが、「暴力を生き延びた女性たちへの心のケア」と題して、自身の被害体験を交えながら、DVの構造や怖さ、特に、精神面を回復する支援の重要性について講演し、「本当の優しさとは、相手を尊重し、相手を基準に物事を考えること」と語りました。

## 暴力は犯罪です

### DV等相談窓口

暴力根絶のシンボルマーク

- 市役所本庁 1階 保健福祉課  
月～金の午前9時15分～午後4時  
TEL 27-3111 内線183
- 県福祉総合相談センター  
TEL 019-629-9610
- 大船渡警察署生活安全課  
TEL 26-0110
- 大船渡地方振興局保健福祉環境部福祉課  
TEL 27-9913 内線213
- 内閣府 全国共通DVホットライン  
TEL 0120-956-080(フリーダイヤル)
- 内閣府 '配偶者からの暴力被害者支援情報'  
<http://www.gender.go.jp/e-vaw/>

# ぽかぽか縁側日記

このコーナーは、皆さんのページです。川柳、エッセー、おもしろ話、困った話などなど、どしどしお寄せください。

さんかく川柳

「パパのカレー 子等も手伝う 日曜日」  
「ありがとう 言われて消える 妻の愚痴」  
「世の中を 変える女性の 底力」

立根町 千葉佳代

市内川柳协会会员の川柳です。皆さんも男女の役割分担等のユーモラスな川柳をお寄せください。

## ああ勘違い

その1 都合のよい耳

「おらあ、この前、ゆぐゆぐがっかりしたでば。家の嫁さ、やんべど思つてマフラー編んだのす。10日もかがつて、やつとできたんだでば」

「ほ、えれごど」

「そしたらす、いどこの娘来てな、あ、すてきなマフラー」つていうがら、自慢こして『編んだんだ』つて言つたのさ。そしたら、何勘ちがいたのか、『え、わたしの、あ、うれしい、ありがとう』と言つて、さつさと首さ巻いでしまつたん

だでば。『違つて言うべどしたつて手遅れだでば。あ、くさすね』

「ほにさ、ほにさ」

その2 喚？ちがい

「きのう、おら家さ、振り込め詐欺の電話きてさ」

「え、やつぱり、おら家さもいつかきてさ」

「ほにさ、ほにさ、みんな気づけだばいいぞ。あ、そんでさ、この前、上の家さ、おがしね電話きたんだと。ばあさん出だつて、夜8時頃にまた電話する』つて言つたんだと。帰つて来た母さんに言つたら、『そりや、フリゴミ（詐欺）だ、よし』とねじりはちまきした

かしねがわがねども、待つてだど。そしたら、やつぱし8時に電話きたとど」  
「うん、うん、そんで」  
「母さん、そりやきたと、何も聞がねうちに『なんなんだ、おら家にそんな息子いねがら。なんだかんだ、おがすね電話なんかすんな！』ガシャンと、火の剣幕でやつけたど。そしたつけな、だんなが帰つた頃、

また電話来たど。だんながとつたら、『や、あんだんどこの奥さんに、さつきとんでもねく怒られたが何があつたのが』つて、言われたど。その人は、だんなの友だちだつたんだと」

「はあ、はあ、その人、なんぼ、たんまげだべ。んでも、そんな母さん、家さいれば安心だな」

「ほにさ、ほにさ」



2つの話とも近所から拾つたものですが、世の中に勘ちがいは常にあるものです。しかし、本当にこわいのは、この勘ちがいを商売にしている人です。そう、振込詐欺。手をかえ口をかえ、鼻をつまんで声色をつ



## 編集後記

先日、気仙3市町の社会福祉協議会や、商工会議所など10団体が、しあわせ・どっと・こむ実行委員会」を立ち上げ、出会の場を提供するパーティを開きました。少子・高齢社会の課題解決にという、この元気な企画に、心から敬意を表し、拍手を送ります。

折りしも、内閣府少子化対策・男女共同参画担当の小淵優子大臣が、第2子を懐妊されたとのこと。無事出産されることを祈念し、同時に、仕事と子育てへの奮闘に期待するものです。（簡）

「いきいき通信」について、あなたのご意見、ご感想をお寄せください。